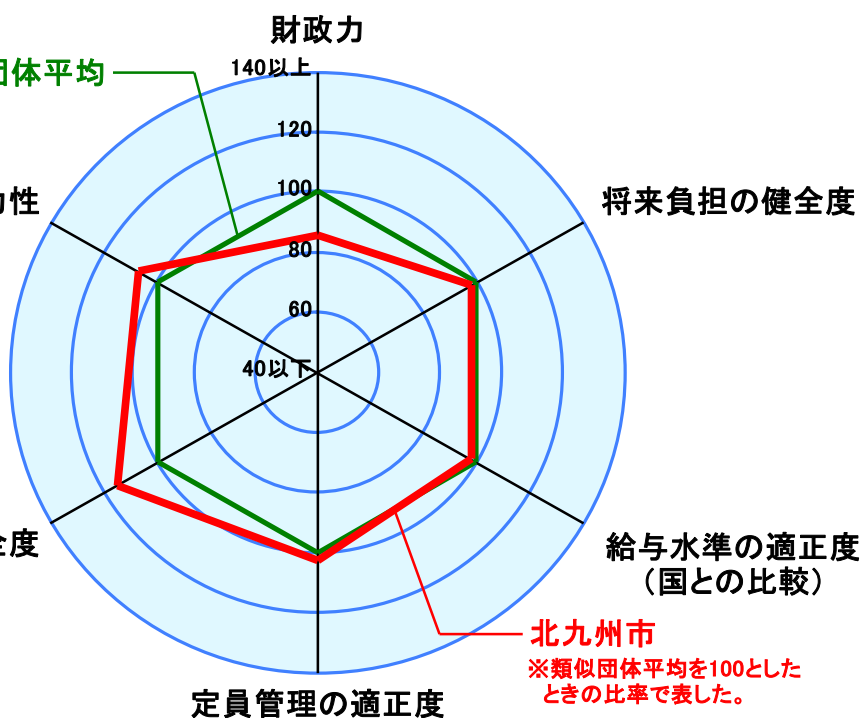


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

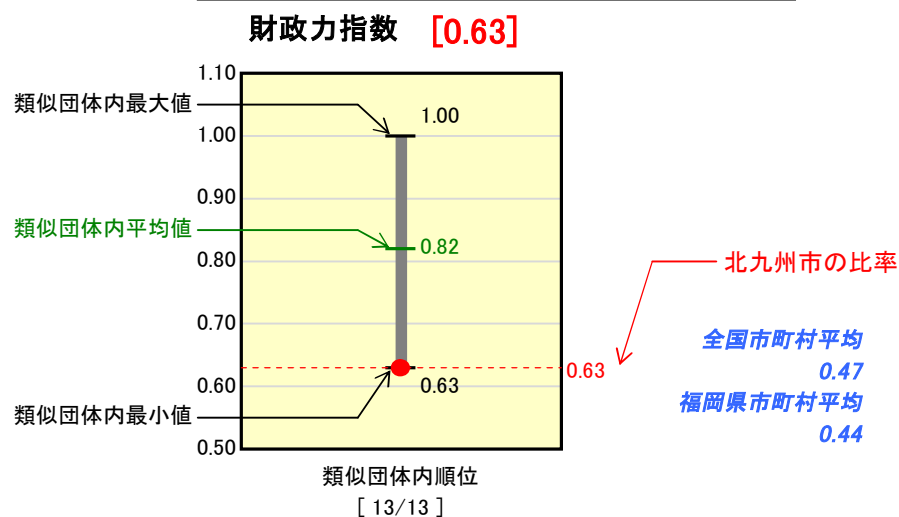
福岡県 北九州市

人口	990,878 人(H17.3.31現在)
面積	486.81 km ²
歳入総額	523,535,309 千円
歳出総額	516,006,481 千円
実質収支	1,082,557 千円

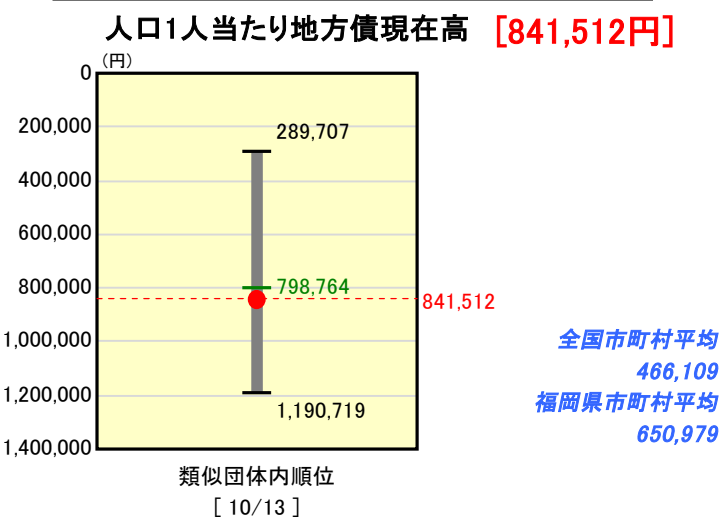


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

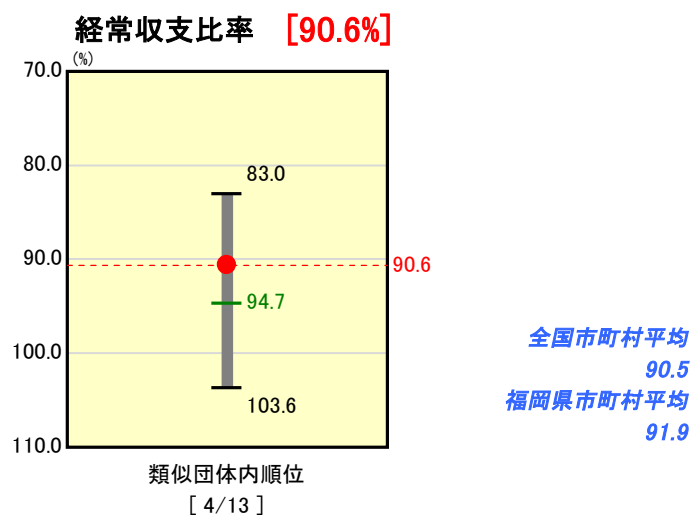
財政力



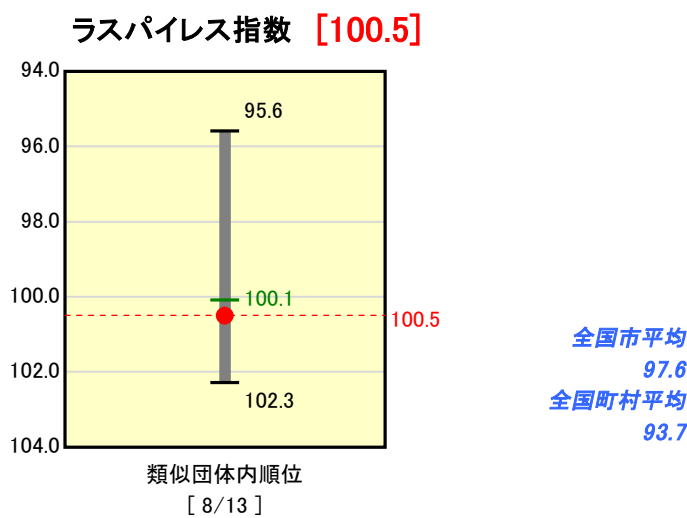
将来負担の健全度



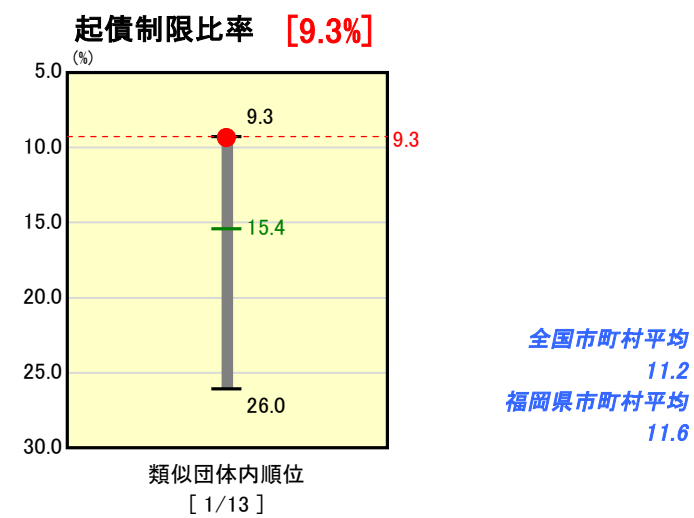
財政構造の弾力性



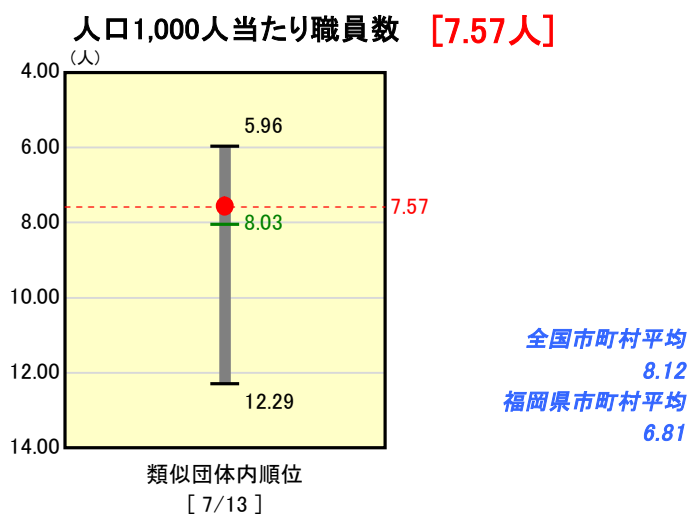
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

- ・財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成16年度末21.7%)等により、財政基盤が弱く、類似団体中、最低水準にある。今後は、平成17年度から21年度までの5年間で、職員数の削減(1,060人)や303項目の組織・事務の見直し(約350億円の削減)等の行財政改革への取り組みを通じて、財政基盤の強化を図る。
- ・経常収支比率
行財政改革の取り組みを強力に推進し、職員定数の大幅な削減や福祉的経費の適正な運用を図ってきた。その結果、人件費率15.3%(類似団体中第3位)、生活保護率13.1%(同6位)となり、類似団体平均を下回っている。今後も指定管理者制度の活用を図るなど経常経費の削減に努める。
- ・起債制限比率
地方交付税措置のある地方債を活用してきたこと等により、類似団体の中では最低水準にある。今後も適切な市債の借入を行い、健全な財政運営に努める。
- ・人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均と比較して上回っている。これは、平成4年度以降、国の経済対策などによる公共事業の拡大や住民税減税の実施、地方財政の赤字補填に伴う財源対策のため、市債の発行が増加したためである。市債の活用にあたっては、事業の熟度や重要性を吟味し、施策の厳しい選択を行い、適切な市債管理に努める。
- ・ラスパイレス指数
現在の給料表は年功的な体系になっており、上下の職務の級間での水準の重なりも大きいものとなっている。こうした年功的な要素が強い給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る観点から、職務の級間の給料表水準の重なりを縮小、給与カーブのフラット化、枠外昇給制度の廃止などの措置を講じることにより、より一層の給料表構造の適正化を図り、ラスパイレス指数の縮減に努めるとともに、住民に理解を得られない手当の見直しを行う。
- ・人口1,000人当たり職員数
行財政改革の取り組みにより、平成7年4月に11,556人であった職員数は平成17年4月現在で9,705人となり(1,851人削減、約16.0%減)、目標として掲げていた「職員1万人体制」を実現した。今後は、平成17年度から平成21年度までの5年間で1,060人(10.9%)削減し、平成25年度には、職員数8,000人とするを目標とする。※上記職員数は、公営企業等を含む全職員の人数である。

